

2021年12月15日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザサポート

Apache Log4j の脆弱性(CVE-2021-44228)の Palo Alto Networks 製品への影響について (第2報)

平素は Palo Alto Networks 製品サポートをご利用下さいまして誠にありがとうございます。

先日、Apache の Java ベースのログ出力ライブラリである「Apache Log4j」について、脆弱性情報 (CVE-2021-44228) が公開されています。当該脆弱性に関する Palo Alto Networks 製品への影響を下記にご案内いたします。

記

1. CVE-2021-44228 の Palo Alto Networks 製品への影響

2021/12/15 追記

当社で保守サービスをご提供している Palo Alto Networks 製品に関して、Panorama (M シリーズ および Panorama VM) を除き、CVE-2021-44228 の影響を受けません。 Panorama への影響については現在調査中であると下記メーカーサイトに掲載されております。最新の情報については下記メーカーサイトをご参照ください。

※Panorama への影響について前回ご案内時点では影響なしとなっておりましたが、2021/12/14(PST) 時点でメーカー調査中のステータスに変更となりました。

詳細については、Palo Alto Networks 社から発表されている Security Advisories と Unit42 のブログも合わせてご参照ください。

Security Advisories

CVE-2021-44228 Informational: Impact of Log4j Vulnerability CVE-2021-44228

<https://security.paloaltonetworks.com/CVE-2021-44228>

脅威に関する情報: Apache Log4j に新たな脆弱性(CVE-2021-44228) 実際の悪用も確認

<https://unit42.paloaltonetworks.jp/apache-log4j-vulnerability-cve-2021-44228/>

なお、本案内でご案内しておりますサイトに掲載されている以上の情報は開示されていません。

記載内容以上の情報については、弊社サポートではお答えいたしかねます。予めご了承ください。

以上